

大子

だいで

議会だより

目次

令和5年第2回定例会	2～3
令和5年第2回臨時会	4
大子町子ども議会	5～9
議員研修視察	10～12
議員の活動報告します	13～14
あん議 ^{とき} 会の質問は今?!	15～16
一般質問	17～23
「わくわくわたしの夢」	24

「未来へつなごう、わたしたちの大子町」(令和5年度子ども議会テーマ)



令和5年 第2回定例会

郵便局がますます便利に！ 住民票などの取れる郵便局が7局になりました！

令和5年第2回定例会が5月31日から6月8日までの9日間の会期で開催されました。新型コロナの位置付けが5類に移行したことから、新議場になって初めて、全課長が議場内に着席しました。

今回の議会では、大子町の特定の事務を取り扱わせる郵便局の指定等の変更などの町長提出議案が9件、議員提出議案1件が審議され、すべての議案が全会一致で可決されました。

一般質問では、6名の議員が登壇し、町政全般についての質問が展開されました。

諸般の報告事項では、小中学校の適正配置について、令和7年4月1日の町内中学校の統合に向けた今後の取組が示されました。



■新たに指定された郵便局（2局）

- ・下金沢郵便局
- ・上小川郵便局

○既に指定されている郵便局（5局）

- ・大子郵便局、大子池田郵便局、大子佐原郵便局、町付郵便局、生瀬郵便局

■中学校の適正配置について

- ・大子西中学校、南中学校、生瀬中学校については、大子中学校への統合を推進する。
- ・統合の時期については、令和7年4月1日を予定する。

一般会計補正予算(第3号)の主なもの

歳入	補正額
国庫支出金	8148万6千円
県支出金	67万2千円
地方債	260万円
普通交付税	4583万1千円

歳出	補正額
コミュニティ助成事業補助金	200万円
地区防犯灯電気料補助金	187万2千円
しあわせ ^{プラス} +商品券事業費	5884万9千円
大子町燃料費高騰対策事業者支援金	3320万円
障がい者施設・介護施設・児童福祉施設・医療機関等各種支援金	575万円

第2回定例会 提出議案等と審議結果

議案番号	議 案 名	結 果
報告2号	令和4年度大子町一般会計予算継続費繰越計算書の報告について	報告済
報告3号	令和4年度大子町浄化槽整備事業特別会計予算継続費繰越計算書の報告について	報告済
報告4号	令和4年度大子町一般会計予算繰越明許費繰越計算書の報告について	報告済
報告5号	令和4年度大子町水道事業会計予算繰越計算書の報告について	報告済
議案第48号	大子町の特定の事務を取り扱わせる郵便局の指定等の変更について	原案可決
議案第49号	天蓋車の取得について	原案可決
議案第50号	大子町教育委員会委員の任命について	原案同意
議案第51号	大子町公平委員会委員の選任について	原案同意
議案第52号	令和5年度大子町一般会計補正予算（第3号）	原案可決
議員提出議案 第4号	議員の派遣について	原案可決

大子町教育委員会委員に渡邊和行さんを選任

大子町教育委員会委員の石井彰さんが、令和5年6月15日で任期満了となるため、後任に渡邊和行さんわたなべかずゆきを任命することに同意しました。任期は令和5年6月16日から令和9年6月15日までです。

大子町公平委員会委員に菊池智さんを選任

大子町公平委員会委員の皆吉俊一さんが、令和5年2月13日付けで退任されたため、後任に菊池智さんきくちさとるを選任することに同意しました。任期は令和5年6月9日から令和8年11月30日までです。

令和5年第2回臨時会

旧役場庁舎等解体事業費(3億4900万円)などを可決!!

第2回臨時会が5月1日に開催され、町長提出議案11件について、すべての議案が全会一致で可決されました。

第2回臨時会 提出議案と審議結果

議案番号	議 案 名	結 果
議案第37号	大子町税条例の一部を改正する条例の専決処分の承認を求めることについて	原案承認
議案第38号	大子町国民健康保険税条例の一部を改正する条例の専決処分の承認を求めることについて	原案承認
議案第39号	新型コロナウイルス感染症の影響による大子町国民健康保険税の減免に関する条例を廃止する条例の専決処分の承認を求めることについて	原案承認
議案第40号	損害賠償の額の決定の専決処分の承認を求めることについて	原案承認
議案第41号	令和4年度大子町一般会計補正予算(第9号)の専決処分の承認を求めることについて	原案承認
議案第42号	令和4年度大子町後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)の専決処分の承認を求めることについて	原案承認
議案第43号	令和4年度大子町介護保険特別会計補正予算(第4号)の専決処分の承認を求めることについて	原案承認
議案第44号	令和5年度大子町一般会計補正予算(第1号)の専決処分の承認を求めることについて	原案承認
議案第45号	大子町国民健康保険条例の一部を改正する条例	原案可決
議案第46号	新型コロナウイルス感染症の影響による介護保険料の減免に関する条例の一部を改正する条例	原案可決
議案第47号	令和5年度大子町一般会計補正予算(第2号)	原案可決

一般会計補正予算(第2号)の主なもの

歳 入	補 正 額
国庫支出金	9035万9千円
県支出金	5億478万1千円
町債	970万円

歳 出	補 正 額
旧役場庁舎等解体事業費	3億4900万円
電気・ガス・食料品等価格高騰重点支援給付金事業費	8017万2千円
子育て世帯生活支援特別給付金事業費	788万円
水戸ホーリーホック連携事業費	112万8千円

令和5年度大子町子ども議会

【議事日程】

- 日程第1 令和5年度大子町子ども議会の日程について
- 日程第2 まちづくりに関する質問や提言
- 日程第3 議案第1号「大子町子ども議会交付金事業」について

『未来へつなごう、わたしたちの大子町』

(令和5年子ども議会テーマ)



令和5年7月11日に子ども議会が開催されました。昨年度はオンラインによる開催でしたが、今年度は新しい議場を使用しての実施となりました。

町内小中学校(10校)の各学校から選ばれ2名の議員が、「まちづくり」に関する質問や提言、「大子町子ども議会交付金事業」の計画を発表しました。

議長団には、佐藤絆^{さとうきずな}議長(大子中)と山田あやめ^{やまだ}議長(生瀬中)が選ばれ、スムーズな議事進行や採決などの大役を無事務め上げました。



山田あやめ議長(左)・佐藤絆議長(右)

日程第1

議会の日程について

令和5年7月11日(火)

日程第2

「まちづくりに関する質問や提言」の内容(一部抜粋)

議 員	質問・提言の内容
1 (だいが小) ますこ りく 増子 颯 議員	<p>■大子町の自然環境を守るためにできること</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 木で作ったゴミ箱を設置したい！ 2. 通学途中のごみ拾いボランティアを行いたい！
2 (依上小) おおもり ゆあ 大森 結愛 議員	<p>■大子町の人口減少と働く場所の確保について</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 自然資源を活用した「八溝山天文ツアーと大子・袋田温泉などのコラボ企画」や「地域の休眠資源を活用した町おこし」を行ってはどうか！
3 (袋田小) ながおか みさき 長岡 美咲 議員	<p>■袋田の滝や袋田駅の観光を活発にするための活動について</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 袋田の滝のトンネルに展示するイベントを開催してはどうか！ 2. たき丸君グッズを増やして販売してはどうか！
4 (さはら小) ほりえ そら 堀江 蒼空 議員	<p>■大子町の少子化問題について</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 大子町は約半数が65歳以上で、15歳未満は約7%と少子高齢化が進んでいるが、大子町が子どもを増やすために行っている取り組みを教えてください！
5 (上小川小) にだいら ゆめ 仁平 優愛 議員	<p>■通学路の安全について</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. クラスの話し合いで、「道が狭い」と「街灯が少ない」ことが課題として見つかった。安全な登下校や地域の人が安全に生活するため、町はどのように考えるか！
6 (生瀬小) こばやし あかね 小林 茜音 議員	<p>■スイーツによる観光推進の取り組みについて</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 地元食材を使ったおいしいスイーツと、レトロな街並みや観光地などの資源を結びつける「スイーツによる観光推進」を提言する！
7 (大子中) わたなべ のどか 渡邊 和 議員	<p>■公共施設の充実について ■習い事について ■公共交通機関について</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 町にはバッチングセンターや卓球場がないので、子どもだけで行ける場所がほしい！ 2. メジャーではない習い事は水戸まで行かなければならないが、町としてスポーツ教室や音楽教室などの開催は考えられないか！ 3. 中学生や高校生が水郡線などの公共機関を利用する際の経費を助成することはできないか！
8 (大子西中) ましこ げんき 益子 元気 議員	<p>■持続可能なまちづくりの観点より、交通通信網の整備について</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 交通網整備として、高速道路の延伸を提案する！ 2. 通信網整備として、Wi-Fiネットワークを整備してリモートワークスペースを設けては！
9 (南中) かわい ゆいか 川井 結楓 議員	<p>■「大子まちなかビジョン」を活かした地域交流について ■YouTubeチャンネル「大子町」を活用した情報発信について</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 道の駅奥久慈だいがの拡張地域での交流促進と、オートキャンプ場などでのライトアップイベント開催を提言する！ 2. Youtube チャンネル「大子町」を活用した情報発信について提言する！
10 (生瀬中) ましこ かれん 益子 花恋 議員	<p>■にぎわいと活気を生み出す活力あるまちづくりの推進について ■未来を担う子育てを支援するまちづくりの推進について</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 「昭和のレトロな街並みづくり」と「カヌーを活用した観光」を提案する！ 2. 「ベビーシッターのマッチングサービス」と「家庭の負担を抑えるための保育園等での必需品提供」を提案する！

執行部からの答弁

子ども議員からの質問や提言に対して、町（執行部）からこのような答弁がありました。

※一部を抜粋して掲載しています。

■袋田の滝や袋田駅の観光を活発にするための活動について

問 たき丸君グッズを増やして販売することで、袋田の滝の売店が賑わうと思うのですが、太子町の考え方を聞かせてください。

答 ぬいぐるみや最近人気があるアクリルスタンドなどのグッズ化によって売店も賑わうと思いますので、商品開発や販売方法について、調査していきたいと思います。【観光商工課】



■太子町の少子化問題について

問 太子町が行っている子どもを増やす取り組み（施策）について教えてください。

答 太子町では、約40の施策を実施しています。「学校給食費の無料」や「保育所・保育園の保育料無料」、「幼稚園の授業料無料」、「新生児すくすく祝金（お祝金は1人目が生まれると10万円・2人目が20万円・3人目以降は30万円）の実施」、「0歳から高校生までの医療費の無料」、「子育て支援住宅の建設や家賃補助」、「放課後児童クラブ・放課後子ども教室の拡充」などがあります。【福祉課】

※このほかに「子育て世帯住宅建設助成金」や「太子町イングリッシュキャンプ」、「太子清流高校の魅力向上の取り組み」などの説明がありました。

■通学路の安全について

問 下校途中に薄暗くなる時がありますが、通学路に街灯が少ないので安全性を高めるために街灯を増やすことが必要だと思います。太子町の考え方を聞かせてください。

答 町には、安全や犯罪被害防止の目的で設置している防犯灯が2289基あり、町が管理する町道の防犯灯の設置間隔は、270mに1基の割合となっています。通学路での皆さんの安心、安全を守ることは大きな課題です。今後とも少しずつ皆さんの願いがかなうよう、努力してまいります。

【財政課】

■スイーツによる観光推進の取り組みについて

問 太子町のレトロな雰囲気建物と特産品を使った和風スイーツや和洋折衷スイーツを提供することで、相乗効果によって、より効果的な宣伝ができます。観光資源を結びつけることで観光客の増加につながると考えますが、太子町の考えをお聞かせください。

答 スイーツやレトロな建物など様々な観光資源の結びつけは、太子町の強みを掛け合わせた、非常に魅力的なアイデアです。この取組によって、太子町の良さをたくさんの観光客に知ってもらうことで、SNSでの発信や商品開発が行われるなど、さらなる観光推進につながるものと考えます。【観光商工課】



日程第3

議案第1号

○高梨町長から示された分配案

大子町子ども議会交付金事業とは



自分たちの住む地域の現状を調べて、地域が抱える課題を児童生徒が自ら考え、解決してもらうための費用です。令和5年度交付金事業の総額は40万円で、各学校へ分配する金額を子ども議会で決定します。各学校は決定した交付額の範囲で事業を実施します。

A案

人数が多い学校も少ない学校も同じように金額を配ることを中心に考えた案
学校平等割65%
人数割35%

B案

児童生徒一人一人に同じように金額を配ることを中心に考えた案
学校平等割35%
人数割65%

「大子町子ども議会交付金事業」の活動計画と投票

順番	投票	活動計画
1 (大子中) わたなべ のどか 渡邊 和 議員	A	■花いっぱい運動 ・職場体験学習でお世話になった事業所に花を贈る。
2 (大子西中) いしい ゆうと 石井 悠翔 議員	A	■文化祭「仁志輝祭」の実施 ・さつまいもを栽培して地域の人にプレゼントする。
3 (南中) かみなが そうすけ 神長 宗佑 議員	A	■ごみゼロ作戦と男体山清掃登山の充実 ・清掃道具の購入や景観維持活動を実施する。
4 (生瀬中) ましこ かれん 益子 花恋 議員	A	■地域に開かれた文化祭「輝生祭」の実施 ・ポスター作成や来場者へのプレゼントなどを実施する。
5 (だいが小) たかはし さき 高橋 咲希 議員	A	■自然環境を守るために私たちができること ・ゴミ箱の製作と設置、ポスターなどを作成する。
6 (依上小) さかきばら りと 榊原 琉翔 議員	A	■忘れたくないふるさと依上 ・地域の思い出をまとめて発表する。
7 (袋田小) なまいざわ ひかる 生井澤 煌 議員	A	■袋田環境美化事業 ・土や肥料を購入してプランターを作成し、袋田の滝などに設置する。
8 (さはら小) まくち ことね 菊池 菜音 議員	A	■茶の里さはらを生かした体験活動 ・夢道場などでさはらのお茶の素晴らしさを伝えたい。
9 (上小川小) ありま いろは 有馬 彩華 議員	A	■「上小川・下小川地区のおすすめスポットマップ」制作 ・マップを作り、地区の人や観光客へ配布する。
10 (生瀬小) くろだ まさき 黒田万倅樹 議員	A	■「ふれあいの森林」の活用推進事業 ・ふれあいの森林を整備してステージを広げたい。

○投票の結果は・・・

A案が10票、B案が0票ということで、議案第1号は

「A案」に可決決定しました。



これにより各学校への交付金の額（40万円を分配する金額）が確定しました。

- ・だいが小 71,000円 ・依上小 36,000円 ・袋田小 37,000円 ・さはら小 30,000円
- ・上小川小 35,000円 ・生瀬小 32,000円 ・大子中 63,000円 ・大子西中 33,000円
- ・南中 32,000円 ・生瀬中 31,000円

子ども議員が発表した学校ごとの活用計画を、令和5年度中に実施することになります！

先輩議員からのひと言メッセージ！～これを言わずにはられない～

子ども議員の質問や提言の様子を傍聴席から見守っていました。

今はまだ小さい背中ですが、子ども議会の発言を聞いて、やがて大子町を背負っていかたくましい姿に成長するだろうと確信しました。「未来へつなぐプロジェクト」として、先輩議員から後輩議員へメッセージを送ります！

■具体的なイベントの提案「テントをライトアップ」が大子町の目指す「全方位アウトドア自然基地大子町」とマッチングしています。非常に幻想的で興味を持ちました。YouTubeチャンネル「大子町」の広め方、発信方法などを、問題点を指摘するだけでなく若い世代の感覚に沿ってより良い活用方法を提案していました。

■1人が2つのプリンターを担当し、土づくりから種まき、肥料、水やり、草取りなどの作業は本当に大変だと思います。毎年、袋田の滝や袋田駅前に設置していただき、観光客や地域の皆さんの目を楽しませてくれて、感謝しています。

■おすすめスポットマップの制作は、発想から事業の計画など、明確にまとめて発言していました。安心して予算をゆだねられる説得力がありました。郷土愛の育成という観点からも期待したい事業であり、民間施設も対象にしている自由さが新鮮でした。マップができたら、町の議員にも見せてくださいね！

■公共交通に関する提言は、大人の議会でも頻繁に取り上げられていて、特に水郡線の利用促進は重要な課題です。車の運転ができない子ども議員の発言からは、より深刻な想いが伝わってきました。料金の補助などについては、先進地の事例を詳しく調べて発言していたので、より説得力がありました。

■ふれあいの森林で行われている様々なイベントの説明がきちんとされていて、整備の必要性が十分伝わりました。皆さんの心が豊かになるいやしの場所なので、早く整備されて広いステージに生まれ変わるといいですね！

■茶の里さはらの体験活動では、お茶に対する愛情がたっぷり注がれていて、聞いていてお茶のいい香りが漂ってくるような感覚でした。きっと観光に来たお客さんも感じてくれますよ！これからも地域のつながりを大切にしてください！

■木材を利用したゴミ箱作りは、町の林業推進の方策の1つとして活用できると思います。端(はし)板などで作れば、ゴミの削減や廃材の活用になるので、SDG'sにつながる良い提案だと思いました。ポスター作成は町民への啓発活動につながる課題解決に向け期待は大きいと思います。

■「中心市街地を観光地に！」の提案は、住んでいる学区にこだわらないテーマが議員らしいと感じました。街並みを観光地に例えることで、行政だけでなく、民間で努力課題が明確になる弁論でした。体験型の観光としてカヌーを提案したのも時代的にあっています。

■交通通信網の整備についての提案や要望を聞いていて、町の課題などを普段から家庭内で話し合っているのではないかと想像しました。「国勢調査」や「地価公示価格」など、国の事業にも注目して、具体的な数値を根拠に挙げていたので聞いていて説得力がありました。大子町の未来に直結する良い提案でした。

■八溝山天文ツアーの提案が素晴らしいと思いました。きれいが当たり前の大子町の星空はつい見過ごしがちですが、毎日の生活の中で感じているからこそ思いつきだと思えます。温泉とのコラボもいいですね。さらにはキャンプなどのコラボ企画も考えられ、自然資源や休職資源の活用企画は大子町向けのいい提案だと思います！

議長の座(席)お貸しました！

菊池議長からのコメント



今回は、子ども議会が始まって以来、初めて議場での開催となりました。子ども達が良い町にしたいと日頃考えていることを話し合い、まとめて、議場で提言して町長などから回答をもらうことは、将来を担う子ども達にとって、とても貴重な体験になったと思います。町も数々の提言を形にして欲しいと思います。

貴重な体験をもう1つ。子ども議会終了後に議長室を開放して、1日限定の議長を楽しんでもらいました。



議員研修視察の概要

7月5から7日までの3日間で議員研修視察を実施してきました。

今回訪れたのは、大子町と包括連携を締結した株式会社モンベルの本社（大阪市）、空き家などを改築したサテライトオフィスなどに取り組んでいる徳島県神山町、地元高校の存続と魅力化を目的として「町営塾」を開設した高知県四万十町などの自治体や事業所です。

研修には13名（議員10名、事業担当課職員1名、議会事務局職員2名）が参加し、最初に訪問した株式会社モンベルでの研修には高梨町長も出席しました。

■株式会社モンベルとは



株式会社モンベルは、アウトドアスポーツ用品の企画、製造、販売などを手掛けている企業です。世界的な事業展開に加え、国内でも多くの自治体や機関と包括連携事業を進めるなど、広く社会貢献されている企業です。

- ・本社：大阪府大阪市
- ・代表取締役会長兼CEO 辰野 勇
- ・創立：1975年8月1日
- ・業種：アウトドアスポーツ用品の企画、製造、販売
- ・年商：約940億円（2021年度）
- ・従業員数：1,250名
- ・包括連携協定を結んでいる自治体及び団体：127カ所（大子町は83カ所目）

mont-bell

（株式会社モンベルのロゴマーク）

（株式会社モンベルホームページより）

《今回訪問した視察先の概要》

■株式会社モンベル

今回の研修視察では、辰野会長から興味深い話を聞くことができました。モンベル社との包括協定で町が変わった成功事例として、南富良野町や小清水町（共に北海道）などの事業紹介があり、モンベル社の躍進状況に当町での期待も一気に高まりました。協定自体では具体的な取組を行う義務は生じないため、行政と議会が一丸となって「協定の価値を高めるよう努力しなければならない」と今回の訪問で確信しました。



モンベル社のスキルと大子町の大自然、この組み合わせによる今後の事業展開に「無限大の可能性」を感じました。

かみやまちょう
■徳島県神山町【神山のまちづくりと創造的過疎】

神山町には多くの企業がサテライトオフィスを設置したり、多くの起業家が移住していて、令和元年には人口が社会増に転じています。その魅力と過疎地における概念を学ぶために神山町へ行ってきました。



○神山町の概要

- ・人口：4,850人
- ・世帯：2,439世帯
- ・面積：173.30km²
- ・予算：52億9400万円
- ・特徴：令和4年10月時点で、15社が神山町にサテライトオフィスを設置

■創造的過疎とは



過疎化の現状を受け入れ、数ではなく過疎の中身を改善する。外部から若者やクリエイティブな人材を誘致することによって、人口構成の健全化を図るとともに、ICTインフラ等を活用し、多様な働き方が可能なビジネスの場としての価値を高めることによって、農林漁業等の第一次産業のみに頼らない、均衡のとれた「持続可能な地域」を目指す。

(認定NPO法人グリーンバレー提供資料より)

しまんとちょう
■高知県四万十町【町営塾「じゅうく。」】

令和5年度から大子町にも町営塾が開設されるため、先進地である四万十町を訪問して、事業の詳細や現状などを視察してきました。



○四万十町の概要

- ・人口：15,602人
- ・世帯：8,129世帯
- ・面積：642.28km²
- ・予算：208億5500万円
- ・特徴：林野が87.1%

■町営塾「じゅうく。」とは



「じゅうく。」は四万十町にある2つの高校を応援するために立ち上げられた町営の塾です。地元高校の存続と魅力化を目的とした人材育成事業の一環として、現在は(株)ファウンディングベースという民間の企業が委託を受け、高校や役場のほか町内の様々な機関と連携しながら運営をしています。月額2千円の教材費で通うことができ、町内外2校の生徒の約6割が活用しています。受験学習、社会学習、キャリア学習により、地域と関わりながら進路選択のサポートをしています。令和4年度からは、中学3年生を対象とした中学部がスタートしました。

(四万十町役場提供資料より)

研修報告書

『自然を活かす』視察研修にて

防災道の駅施設内に出店を計画している「モンベル本社」へ。辰野会長から企業経営など事業の推進を行う上での話を伺うことができた。いくつかのミッションを起点にチャレンジして行く上で、不都合が生じれば遠回りしてでもそれらに向かい、歩きながら考えていくことだと。

アウトドアの可能性は、自然と向き合う大切さ、そのことで歴史文化など地域固有の魅力を観光客に伝えることができるかと改めて思った。

「神山町」では、人口減少の現状を受け入れ、人口の中身を変えようとしている。文化ではアーティストなど住民のサポートを受けながら創作活動を行い地域に新しい風を吹き込む。このよ



うに入ってくる人は何かを運んでくる。

私たちの町においても地域おこし協力隊など、その人たちが持つ多様な価値観を容認し、受け入れる体制を更に加速する必要性を感じた。

子供たちに人づくりを進める高校の存続をかけた事業四万十町営の塾「じゆう

く。」通ってから、学習習慣が身につく、努力が結果につながったなど。そして、もつとも気になったのが積極性が高まり行動力のアップに繋がったこと。興味や関心に出会い、やってみることで得られる体験をする。この塾では、子供たちが機会を作り出し、そして自然とひとの豊かさを提供する郷土愛を感じる場所があった。

（飯村 剛）

議員研修視察を終えて

（株）モンベル本社を訪ね視察した。新しく整備される防災型観光交流施設に、会員数約115万人を抱えるモンベルが出店を計画している。新たな交流人口の増加が見込まれ、辰野会長との意見交換で、改めて、議会も積極的に進めていくべきと感じた。

徳島県神山町は人口約5000人、一時は消滅可能性都市のリストにも載った町である。2010年

頃、サテライトオフィスの開設等で注目される。現在は様々なレジデンス文化やNPO法人グリーンバレーの設立、神山塾等の施策で2019年には人口が社会増に転じた。その背景には地元有志の活動がある。「それを作れば彼らはやってくる」（映画フィールド・オブ・ドリームス）それで何だろう、彼らって誰だろう、と考え「わけのわからない投資」をさちんとしたから結果的に今の状況であると言う。人口減少の現

状を受け入れ人口の中身を考える、若者や創造的な人材を誘致し、持続可能な地域を目指す。私達も未来の大神子町を生きたるは若者であると定義し、若い住民主体で未来を考え計画を策定する時にきたのではないだろうか。

高知県四万十町は、地元高校の存続と魅力化を目的とし町営塾「じゆうく。」を開設した。独自のカリキュラムにより、地域と関わりながら進路選択のサポートをしている。町内の生徒の6割が活用している。なお、この事業の予算約7200万円はふるさと納税を活用している。

大神子町で開設予定の町営塾も大神子町の子供達の地域を思う心を育みながら学習する体制の出発点になれると思う。

（川井正人）



議員の活動報告します！

5月、6月、7月は主に次のような議員活動を行いました。

5月

- ・第2回臨時会
- ・町有林植樹イベント〔林活議連〕
- ・総務経済委員会現地視察（奥久慈パノラマライン）
- ・国道461号整備促進協議会決算監査〔議長〕
- ・県北中央町村議会議長会総会〔正副議長〕
- ・定例全員協議会〔全議員〕
- ・茨城県市町村長・議長合同会議〔議長〕

6月

- ・第2回定例会〔5月31日から6月8日まで〕
- ・大洗町議会傍聴〔議員〕
- ・文教厚生委員会研修会〔防災対応型炊飯センターほか〕

7月

- ・議員研修視察（大阪府・徳島県・高知県）
- ・子ども議会傍聴〔議員〕
- ・県北中央町村議会議長会研修視察〔正副議長〕
- ・国政状況学習会（衆議院第一会館）
- ・議員と話そう会（高齢者大学）
- ・学校給食センター「防災対応型炊飯センター竣工式」〔全議員〕

ピックアップ

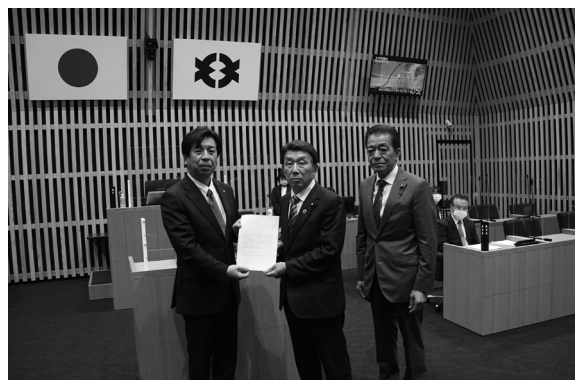
■燃料費や物価の高騰に対する経済支援の要望書を提出しました！

今回の要望書は、3年にわたるコロナ禍による経済への影響や、ロシアのウクライナ侵攻による政情不安により、いまだ燃料費や物価高騰の収まる気配がないことから、全町民への生活支援及び経営に困窮する事業者の支援となるよう、昨年に続いて商品券配布や事業者支援対策を要望したものです。

第2回臨時会の開会前に、菊池議長と齋藤副議長が議会を代表して、高梨町長に要望書を提出しました。

【要望事項】

- 1 町民の生活支援として、換金時の上乗せプラスがある「しあわせ+商品券」を発行すること。
- 2 事業者の経営支援となるよう燃料費等補助の対策を講じること。



■大洗町の議会を傍聴してきました！

普段は傍聴される側の議員ですが、ほかの自治体の議会運営がどのように行われているかを研究するため、研修の一環として大洗町の議場を訪れ、議会の様子を傍聴してきました。

この日(6月14日)は、大洗町議会の定例会最終日で、一般質問が行われ2名の方の質問の様子を傍聴することができました。

議会が閉会した後は、大洗町の國井町長、飯田議長、柴田副議長、伊藤常任委員長と交流を兼ねた意見交換を行い、非常に有意義な研修となりました。



■町有林植樹イベントに参加しました！

「伐って、木材を活用して、植えて、育てる」

これらは、森林の持つ多面的機能を十分に発揮するための重要な要素で、大子町では「循環型林業」として推進を図っています。

今回(5月2日)は、大子清流高校の生徒や地域の林業従事者と一緒に植樹のイベント(技術研修)に参加しました。



【場所】 下金沢町有林

【植樹した苗木】 約 1600 本

・スギ 1100 本
・ヒノキ 300 本

・エリートツリー 100 本
・コウヨウザン 100 本

■委員会活動

○総務経済委員会

奥久慈パノラマラインの支障木調査を建設課と行いました。(5月11日)

【調査結果】

袋田～北富田(全長 14.5km)

支障をきたしている箇所が随所に見られ、生活道路のほかに観光道路の役割を担う道路として、早急な対応が必要であることを確認しました。



○文教厚生委員会

6月にオープンした住宅型有料老人ホーム「アیتالホーム」(大字袋田)と、9月から稼働予定の学校給食センター「防災対応型炊飯センター」を視察しました。

同日、幼保施設(幼稚園、保育園、保育所)の園長や所長に担当課長を交えて、意見交換会を行いました。(6月23日)

意見交換会では、子どもが減少する中での諸問題や0歳児保育がもたらす意外な問題点が浮き彫りとなり、現場でのご苦勞をしみじみと感じました。



と き あん議会の質問は今？！

今まで議会で質問してきた事業が、その後どのように行われているか、現在の状況をお知らせするコーナーです。

今回は「株式会社モンベル」との包括連携協定についてです。

まず令和3年10月13日、モンベルが掲げる7つのミッションを連携の基本としたアウトドアアクティビティ促進等により、地域の活性化や町民生活の向上に役立てることを目的に、大子町と株式会社モンベルとの間で協定が結ばれました。

株式会社モンベルの概要については、P10（議員研修視察の概要）をご覧ください。



協定書を取り交わす株式会社モンベル辰野会長と高梨町長



◎連携事項

- (1) 自然体験の促進による環境保全意識の醸成に関する事
- (2) 子どもたちの生き抜いていく力の育成に関する事
- (3) 自然体験の促進による健康増進に関する事
- (4) 防災意識と災害対応力の向上に関する事
- (5) 地域の魅力発信とエコツーリズムの促進による地域経済の活性化に関する事
- (6) 農林水産業の活性化に関する事
- (7) 高齢者、障がい者等の自然体験参加の促進に関する事

大子町とモンベルの関わり年表

- 平成 29 年 2 月
大子町がモンベルフレンドタウン（※1）として登録
- 令和 3 年 10 月 13 日
包括連携協定の取り交わし
- 令和 5 年 3 月 28 日
防災対応型観光交流施設整備・運営に関する覚書を締結

（※1）モンベルフレンドタウンについて

モンベルフレンドタウンに登録されたことで、アウトドアに関心の高いモンベルクラブ（※2）の会員に、大子町のさまざまな情報が届けられ、町の魅力をPRできるようになりました。

（※2）モンベルクラブとは

株式会社モンベルがアウトドアを楽しむ方々のサポートを行う会員組織のことで、115万人を超える方が登録しています。

■令和4年第4回定例会(11月)の一般質問の中で・・・

質問：モンベル直営店の出店判断は、利益よりブランドイメージの構築や地域おこし要素を重視して実行されている。大子町に出店誘致を進めることはできないか。

答弁：モンベル直営店の出店誘致を視野に入れた包括連携協定となるように、今後も努力していきたい。



それから4ヶ月後

■防災対応型観光交流施設整備・運営に関する覚書を締結！

大子町の道の駅が国土交通省から「防災道の駅」に選定されたことで、旧役場跡地に防災対応型観光交流施設の整備を計画していました。そんな中で、今後の施設の整備や運営を株式会社モンベルと協力して取り組むため、令和5年3月28日に覚書を交わしました。



このことによって

株式会社モンベルの出店が前向きに進んでいます！

◎基本合意

- (1) 大子町は、令和5年度から防災対応型観光交流施設の整備を進め、令和8年度の完成を図るものとする。
- (2) 株式会社モンベルは、大子町と株式会社モンベル間の合意形成を前提条件として、防災対応型観光交流施設の運営及び各種事業に取り組むものとする。
- (3) 株式会社モンベルは、本書に定める事項を効果的に進めるため、大子町との協議により株式会社モンベルの関係会社に業務を実施させることができる。
- (4) 管理・運営に係る経費の負担等については大子町、株式会社モンベルで今後協議するものとする。
- (5) 上記のほか、本書に定めのない事項が生じた場合は、大子町と株式会社モンベルで協議し定めるものとする。



そして現在は

防災対応型観光交流施設整備の基本構想が示されました！

◎防災対応型観光交流施設（計画案）

- ・場所 旧大子町役場
- ・用途 コミュニティ FM ラジオスタジオ
ビジターセンター、レンタサイクル
アウトドア用品販売ブース(約 1,000㎡) 等
- ・開設 令和8年度予定

令和5年第2回定例会

町政に

ここが聞きたい!これを言いたい!

6名の議員が一般質問!!

質問内容	ページ	質問者
振興公社に対する町の考えは	P.18	菊池 富也 議員
小中学校のいじめ問題と町職員などのハラスメント		
行政窓口の改善策と取組状況は	P.19	野内 健一 議員
行政窓口のヒアリングフレイル対策は		
A I タクシーの登下校活用は	P.20	大森 勝夫 議員
八溝山での自転車レース開催について		
防犯灯のLED化に積極的支援を	P.21	須藤 明 議員
<small>じゅんでいかんぜおんぼさつ</small> 准 胝 観世音菩薩を町指定文化財に		
要配慮者への避難所の体制は	P.22	福田 祥江 議員
子宮頸がん予防の更なる施策は		
旧役場庁舎等の解体工事費は	P.23	藤田 稔 議員

一般質問とは・・・



定例会において、議員が町民の代表として、行政全般にわたり町の考え方や施策の進ちょく状況、将来における施策方針等をただすことです。

また議員は、町長等の答弁を受け、疑問をただすことはもとより、町民の立場に立った事務事業の改善や政策提言をすることも、議員の重要な権限です。

おうちで議会を視聴しよう!

大子町では議会中継を行っていますので、スマートフォンなどを利用して自宅で議会の様子を見ることができます。定例会や臨時会の様子を生中継するとともに、録画配信も行っていますので、是非ご利用ください。

※一般質問者ページのQRコードから、質問者を検索することもできます。



ホームページから **議会中継** クリック



スマートフォンから



問 振興公社に対する町の考えは

答 町民サービスの柱である



菊池富也 議員

3億円、2年から4年までは約3億6千万円程度であり、町の課題となっている。

【菊池】管理体制は。

【観光商工課長】理事会を年6回開催し、町、議員もいる。

【菊池】職員の給与水準及び福利厚生は。

【観光商工課長】職員は。業務内容と職員数は。オートキヤンプ場など10施設の管理運営を担う。職員数は143名である。

【菊池】町からの支援体制と補助金額は。

【財政課長】大子広域公園など8施設の委託料で約3億8千万円を支出しているが、利用料など約2億5千万円が町に入る。

【菊池】委託料は年々どの程度増加しているのか。

【財政課長】令和元年が約

時給1100円程度である。

【菊池】町と公社では月額約10万円の開きがある。年間で100万円以上の差が

でき、土日の出勤に加え夜間、休日出勤なども大変な思いをしている。この賃金格差をどう考えているか。

【観光商工課長】現在、累積赤字の解消に努めている。

【町長】もう少しで累積赤字を解消できるので、財政の黒字化を目指し、その後考えたい。

【菊池】次にこのような振興公社に対する町の基本的な考え方と今後の体制づくりを伺う。

【観光商工課長】町の多様な施設の管理運営を委託し、また、町民サービスの柱として適切に支援して行く。

【菊池】防災道の駅の管理と振興公社の関わりは。

【観光商工課長】県が整備する防災道の駅の管理・運営については県と協議を進めて行く。



振興公社が管理する「来て喜」

じめではないと主張した場合であってもいじめと認定することがある。全国的な傾向としていじめ防止対策推進法により認知件数は増えている。

【菊池】町職員の休職や早期退職が増加しているように思えるが事由は何か。

【総務課長】休職については、医師の診断によるものであり、早期退職については「一身上の都合による」となっている。

【菊池】ハラスメントによる事案はなかったか。

【総務課長】管理職に、「ハラスメント」行為防止及び排除について通知した。今後、全職員を対象とした研修を計画している。

小中学校のいじめ問題と町職員などのハラスメント

【菊池】小中学校のいじめはどうか。

【教育委員会事務局長】現在は「いじめられた」と被害児童等が言えば、いじめとして認定することになる。また、児童等がい

問 行政窓口の改善策と取組状況は

答 新たな窓口システムを年内導入



野内健一 議員

印鑑登録証明などの証明書が、コンビニや役場本庁舎のキオスク端末で取得することができるようになっている。コンビニについては平成29年3月から、役場本庁舎については令和5年4月から対応している。キオスク端末を利用することで書かない、そして対面しなくても証明書が取得出来るようになってきている。さらに「書かない窓口」については、「書かない窓口」については、証明書発行以外の転入、転出、転居などの手続きにおいて、マイナンバーカード等を利用することで、氏名や住所などが印字された申請書が作成出来るような「かんたん窓口システム」を年内に導入する準備を進めている。

在町民の方はどれくらい取得しているのか。
【町民課長】 マイナンバーカードは、5月28日現在で76・85%、1万2153名に交付している。

【野内】 次の段階として、自宅に居ながら各証明書をとり出せる、「行かない窓口」の導入にはどれくらいの時間を必要とするか。
【まちづくり課長】 「行かない窓口」の取組は、証明書以外のオンライン申請については、茨城県内の市町村が共同で運用する電子申請・届出サービスを導入して、一部補助金の申請等については、オンラインでの申請が可能となっている。さらにその他の追加機能については、今後検討していきたい。

行政窓口のヒアリングフレイル対策は

【野内】 行政窓口において難聴者の方と、難聴の程度が軽く本人自身難聴者の自覚が持てない方への対策は、どのようなことを行っているか。

【町民課長】 対策としては、現在のところ窓口に来たお客様には、聞こえにくいと申し出る方には少し声を張った形でお話する対応を取っている。内容によっては他の方に聞こえないよう筆談なども行っている。今後の対策としては、卓上型のスピーカーの設置など、状況を見ながら判断していきたい。

きたいと考えている。
【野内】 他の自治体で取っている対策としては、対話支援スピーカー「COMUON」というものを導入している自治体がある。金額的には大きなものではないと聞いている。窓口に一台設置しておくだけで大変便利とのことである。さらには公的な通知書に音声コードを付けることも考えているとの事である。
【町民課長】 音声コードに関しては、今後勉強させていただきたい。

【野内】 政府のデジタル庁では、全国の自治体窓口において、「書かない待たない回らないワンストップ窓口」を実現することで「誰一人取り残されない、人に優しいデジタル化を目指している」とされているが、大子町の窓口ではすでに実施しているのか、その取組状況を伺う。

【町民課長】 町ではマイナンバーカードを利用することと、戸籍全部事項証明書、戸籍個人事項証明、戸籍の附票の写し、住民票の写し、

【野内】 マイナンバーカードが必要とのことだが、現



新たな窓口システムに取り組む大子町の新庁舎

問 Aータクシーの登下校活用は

答 統合後の広域送迎に有効である



大森勝夫 議員

に対応しやすい。下校時刻の、平日夕刻から夜間までAータクシーが運行すれば、町民の夜間利用の環境が同時に整う。飲食店を夜間利用する経済効果も期待できる。

「人生の進路を意識する年頃に、自己啓発につながる英語教育の指導を強化した大子町の中学校を創る」という方針を掲げ、統合に取り組めないか。

【町長】 中学校統合の説明を各地域において進める準備段階である。送迎コースが増えるなかでAータクシーの運用は画期的な手段と考える。地域公共交通再編計画でも将来的にAータクシーの活用を想定しており、前向きに検討していく。

【教育委員会事務局長】 現在、英語教育の取組として、英語検定の補助、ブリティッシュ・ヒルズ研修、英語指導助手の配置などをおこなっており、中学校の統合後は、統一した方向性で実施できる。地域や学校の意見を聞き、海外での学習なども視野に入れて、今後の取組を検討する。

【大森】 大子町の中学校を令和7年4月から1つの中学校にする方針が示された。生徒や保護者のためにも登下校の送迎体制の充実を図る必要がある。スクールバスが一般的だが、大子町で導入しているAータクシーの台数を増やしスクールバスと併用した交通体系を検討できないか。路線が多ければ乗車時間が減り、遠方の生徒が早朝に乗車しなければならぬという負担を避けることができる。また、Aータクシーなら分散下校

【大森】 学校統合はマイナスの印象を与えやすい。英語教育を強化した新しい中学校を創るための統合とすることで印象が前向きになる。英語力は進学、就職、経営において、将来その必要性が高くなる知識である。

八溝山での自転車レース開催について

【大森】 八溝山を自転車で登るヒルクライムレースが予定されている。本

格的な自転車レースは町内初であり期待している。詳細を問う。

【観光商工課長】 県内最高峰の八溝山を舞台に「いばらきKOM in 八溝山」がらきKOM in 八溝山」が7月16日に開催される。主催が大子町、共催が一般社団法人ルーツ・スポーツ・ジャパンである。大子町広域公園を出発し、旧浅川小学校前までパレードラン、そこからレースタイムを計測し、ゴールが八溝山の富士見ヶ丘駐車場である。

【大森】 レースの映像などは町の広報に有効である。運営は民間会社へ委託度が



自転車レース開催により、町のスポーツイメージの向上に期待する

高いが、町で映像を記録する体制は整えているか。

【観光商工課長】 町のタウンプロモーションチームと連携し、動画記録も含め、今後の町のPRに活用できるように対応を進めている。

【大森】 ポナイの森を自転車の未舗装コースに整備して誘客を図る事業計画があるので未舗装コースは希少なため集客効果が高い。進ちょく状況を問う。

【まちづくり課長】 コース整備の基本構想の期間が7月20日までなので、現地調査を進めている。今後、補正予算の要求などを経て、今年度中に整備工事に入っていきたい。

その他の質問
「台湾からの観光客の誘致政策について」

問 防犯灯のLED化に積極的支援を

答 他との兼ね合いを考慮して検討する



須藤 明 議員

助対象経費の2分の1、または2万円を限度に支出している。

きたい。

【須藤】 依上地区の防犯灯は96基あり、令和4年より蛍光灯からLED化に整備する年次計画書がある。毎年10基の防犯灯をLED化する計画であるため、最終年度は令和14年度になる見込みである。年間数十件の球切れ交換や器具の点検、電気代の高騰など地区で負担する額も少しずつ増えている。10年と言わずに、もう少し短い期間でLED化が整備できるよう町の支援は考えられないか。

【須藤】 町内に設置されている防犯カメラの設置状況、設置数は。

【生活環境課長】 町で設置した防犯カメラは、令和4年度末で16基である。このほか大子地区防犯協会において1基設置しており、全部で17基である。

【生活環境課長】 町で設置した防犯カメラは、令和4年度末で16基である。このほか大子地区防犯協会において1基設置しており、全部で17基である。

【須藤】 今年度の町の防犯カメラの設置予算が437万4000円計上されているが、設置数や設置場所は。

【生活環境課長】 依上地区1基、宮川地区1基、下小川地区1基の3カ所に設置予定である。

【財政課長】 大子地区防犯協会依上支部についても大子町防犯灯整備事業補助金を活用して、LED化を図っていただきたい。また、要望の支援については、ほかの組織の兼ね合いも考慮して検討している。

【財政課長】 大子地区防犯協会依上支部についても大子町防犯灯整備事業補助金を活用して、LED化を図っていただきたい。また、要望の支援については、ほかの組織の兼ね合いも考慮して検討している。

【須藤】 各地区から新規設置の要望があった場合、どのような流れで設置されていくのか。

【財政課長】 設置する場所を設定していただき、補助金という形で防犯灯1基当たり補

は、幹線道路から分かれる交差点や分岐点に設置できないか。

【生活環境課長】 適正な配置計画について大子警察署と協議を進めていきたい。

じゅんでいかんぜおんぼさつ 准胝観世音菩薩を 町指定文化財に

【須藤】 昔、常陸国二十八番札所の自在院というお寺が依上地区にあった。准胝観世音菩薩という仏像が現在の性徳寺に経緯はわからないが移された。平安から鎌倉時代のものではないかとも言われている。以前、調査の進め方について質問をした際、事務局の中で検討している段階である、との答弁であったが、どのように検討されたのか。

【教育委員会事務局長】 茨城

県立歴史館の学芸員に依頼をして調査を行った。学芸員の方から中国美術に詳しい方による調査が必要であるということから、令和5年度において、中国美術に詳しい方による調査を行う準備を進めているところである。

【須藤】 力強い言葉をいただいたと思っている。ぜひ、早急に取り組んでほしい。今年度は茨城DCが行われる年である。文化財を活用しての宣伝はどうかとの質問に、協議をさせていただくとのことであったが、どのように協議が行われたのか。

【観光商工課長】 茨城DCについては、町の観光の未来を開く誘客とPRの絶好の機会と捉えている。今年度は、フォトサイクリングの開催を予定しており、そういった中で、町内文化財については、各所に点在している状況を活かし、フォトスポットやチェックポイントとして活用を検討したい。



文化財指定を待つ
准胝観世音菩薩

問 要配慮者への避難所の体制は

答 各方面の意見を聞きながら整えていく



福田祥江 議員

者への対応が困難になった時は、二次的避難所として福祉避難所への斡旋も視野に入れていく。避難する時に災害対策本部に問い合わせるか、近くの避難所に行き、その職員に状況を説明するのが良いと思う。

【福田】女性、乳幼児、高齢者などに対する物品の準備状況について伺う。

【総務課長】生理用品、紙おむつ、使い捨ての哺乳瓶、液体ミルクなどを確保している。

【福田】高齢者は尿取りパットの使用頻度が高い。また生理用品は長時間用の準備があると良いと思うが。

【総務課長】多方面からの意見を聞きながら必要品の確保に努めたい。

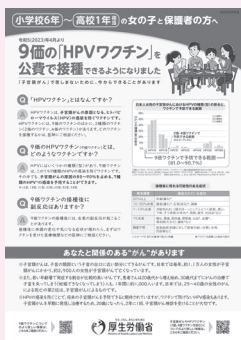
【福田】避難所開設時は混乱が想定される。各避難所ご

との女性部屋、授乳室、キッズスペースなどの配置を設定しておくなどの職員が最初に着しても対応が可能になると思うが、配置は決まっているのか伺う。

【総務課長】運営する職員任せの部分がある。この後、避難所の開設・運営訓練等で職員に周知していきたい。

子宮頸がん予防の更なる施策は

【福田】子宮頸がんは年間1万人が罹患し、2800人が死亡している。原因の95%以上はヒトパピローマウイルスの感染である。子宮頸がんの予防はヒトパピローマウイルスの感染予防と20歳過ぎからの定期検診に



世界中でワクチンの接種が進み、子宮頸がんになる方が減少しています。

よる早期発見の2つの柱がある。2020年に9個の子宮頸がんワクチンが承認され、90%以上の予防効果があるとされている。15歳になる前までに接種すると2回で接種を完了できる。諸外国では接種率80%以上の国も多い中、日本ではわずか1・9%である。大子町でも接種率はそれほど高くない。今後の方針は。

【健康増進課長】未接種者に対し接種勧奨のチラシを個別に送付し周知に努める。

【福田】2020年に日本でも4個の子宮頸がんワクチンにおいて9歳以上の男性への適応が追加された。女性への感染予防だけでなく、男性自身の中咽頭がん、陰茎がん、肛門がん、尖圭コンジローマへの予防効果が



男児にも使用できるようになった4個の子宮頸がんワクチン

ある。この接種費用を助成できないか伺う。

【健康増進課長】厚生労働省の専門家会議で定期接種としての位置づけなどについて議論が予定されている。接種費用が高額で保護者の負担が大きいとは思いますが、現時点では国の動向を注視していきたい。

【町長】先般、带状疱疹ワクチンの助成に関する質問もあった。資金的にも体制的にも均一なサービスを町民に提供していく問題だと受け止め、検討していきたい。

問 旧役場庁舎等の解体工事費は

答 県の物件移転委託金により対応



藤田 稔 議員

設は、旧公用車庫、旧FMだいが放送スタジオ等である。

【藤田】敷地の嵩上げほどの程度になるか。

【観光商工課長】国道461号歩道より約2メートル程度なる。

【藤田】旧役場庁舎等の解体工事費の補償対象となる施設及び解体費用ほどの程度か。また、解体補償対象外となる施設を伺う。

【財政課長】旧本庁舎、旧第一・第二分庁舎、旧バス車庫、旧西側書庫、外構である。費用は、補償対象外を含めて、3億4900万円である。県から町へ、旧役場庁舎等物件移転委託金として、5億478万1188円が支払われる。対象外の施

構造等について伺う。

【建設課長】配置計画が確定していないので具体的な位置は示せない。排水機能は、東日本台風時の一時間当たりの降雨強度46ミリ以上の54・4ミリで計画をしている。

【藤田】湯の里大橋から湯の里公園、旧役場周辺の堤防に沿って大子駅方面に抜ける「施設内道路」の整備計画及び対象者への説明について伺う。

【建設課長】災害時の国道461号の代替道路として県により計画が進められている。現在計画中で示すことはできない。対象者への説明は、令和4年度の地形測量の実施時に測量と設計を進める旨を説明した。

【藤田】防災道の駅敷地内

における防災倉庫、防災トイレ、無停電化施設、貯水槽などの施設規模や配置計画について伺う。

【観光商工課長】防災道の駅整備計画においては、県が主体となり整備をする。災害時の活動規模等を考慮して必要な能力及び数量が精査されるものと考ええる。進ちよくがあれば説明したい。

【藤田】観光交流施設整備計画及びモンベルとの出店計画の進ちよく状況を伺う。

【観光商工課長】FM放送局、行政機能、足湯、ピジターセンター、サイクルステーションの移設を検討している。防災力と集客力のある施設整備を念頭に関係者と調整を図っている。株式会社モンベルとは、建物の整備や適切な管理等について協議をしている。

【藤田】旧役場駐車場跡地におけるスケートボード広場整備計画及び観光、

イベント、集会で使用できる駐車場の確保の考えを伺う。

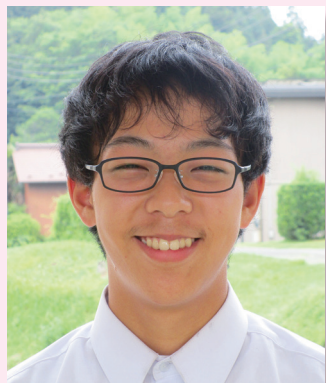
【町長】計画の中ではスケートボード場は残っている。駐車場としては、湯の里公園のヘリポートや防災道の駅駐車場等で総数はマイナスにはならないと予測している。駅から遠くなるが致し方ないかと思う。



中心市街地の活性化に向けた整備を

— 大子っ子の夢、応援しています —

わくわく わたしの夢



生瀬中学校3年
鈴木琉生さん

私は鉱物にとっても興味があり、将来は鉱物を採集したり研究したりできる会社に入りたいと思っています。理由は、自分の趣味を生かした職業に就けたらいいなと考えているからです。そして、自分の好きなことをやり続けたり、欲しい物を手に入れたりすることが自由にできたらいいなと思います。

私は今、勉強を頑張っています。勉強を頑張ることは私にとって不利になることはなく、将来の選択肢の幅を広げることにつながります。そして、私の理想とする会社に入ることができると思っています。

修学旅行や総体も終わり、いよいよ受験に向けてまっしぐらとなります。これからも努力を怠らず、夢の実現のために頑張ります。

掲載内容の誤りについて

令和5年5月8日に発行した「だいご議会だよりNO・213号」で、わくわくわたしの夢の森山愛実さんの氏名に誤りがありました。お詫び申し上げます。お訂正します。

正 森山 愛実さん

誤 森山 愛美さん

常陸国YOSAKOI祭り

研修で訪問した徳島県神山町では、民間主導によるまちづくりが盛んに行われており活気に満ちていました。大子町では「常陸国YOSAKOI祭り」や「百段階でひな祭り」などが民間主



導で開催され、今や町の一大イベントになっています。これからもまちを元気にする民間主導のイベントが増えることを期待します！

写真は、今年開催された第20回常陸国YOSAKOI祭り撮影したものです。

FM放送のお知らせ

町議会定例会の一般質問の様子をFMだいで聴くことができます。生放送のほか録音放送もしていますので、是非お聴きください。

放送日、時間等はFM放送等でお知らせします。



9月定例会開催予定

▽	9月6日(水)	開会
▽	7日(木)	自宅審議
▽	10日(日)	一般質問
▽▽	11日(月)	”
▽▽	12日(火)	”
▽▽	13日(水)	”
▽▽	14日(木)	予算・決算委員会
▽▽	15日(金)	”
▽▽	19日(火)	逐条審議会

※詳細は議会事務局にお問い合わせください。

大子町議会広報委員会

- 委員長 福田 祥江
- 副委員長 須藤 明
- 委員 飯村 剛
- 委員 川井 正
- 委員 菊池 靖
- 委員 齋藤 忠

あとがき

6月16日、厚生労働省の専門家会合が今年5月のコロナ5類以降初めて開かれた。これを境に「第9波」が多くの専門家からつぶやかれ注目されている。これから夏に向かい、果たして全国的に「第9波」と言われるような感染拡大は起きるのか、4週連続で感染者数の増加が続いている状況から「第9波」を懸念する声が上がっている。普段の生活に戻りつつあるとはいえ、引き続き手洗いやうがい、励行、人が密集するところでのマスクの着用など、各自が気を緩めずに感染対策を行っていくことが肝要ではないだろうか。

(須藤 明)